

科 目 名	医療コミュニケーション学演習 [科目番号：41018122]		
学 期	S 2	単 位 数	2 単位
曜日・授業時間帯	水曜 3－4 限		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻（SPH）講義室		
担 当 教 員	木内貴弘、奥原剛 他		
授 業 の 目 的	効果的な医療コミュニケーション（ヘルスコミュニケーション）を行うために必要なスキルを、対人コミュニケーション、メディアを通じたコミュニケーションそれぞれ具体的に取り上げ、演習を行うことによって、「医療コミュニケーション学」の講義で学んだ理論や方略に対する理解を深めるとともに、具体的な医療コミュニケーションの場（医療機関、官公庁、教育機関、研究機関、患者支援組織、マスコミ等）でこれらを生かすことができるようにすることを目的とする。		
授 業 の 方 法	- 各回、課題にもとづいて演習・発表・討論を行う。 - 演習毎にプレゼンテーション、レポート提出、相互評価等を行う。		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	月 日	内 容	担当
	6 月 7 日(水) 13:00-16:40	ヘルスライティング（１） 患者・家族を支援する説明文書を作る 注意：ノート PC 持参のこと	高山智子 (静岡社会健康医学大学院大学)
	6 月 14 日(水) 13:00-16:40	自分を知る・相手を知る MBTI (Myers-Briggs Type Indicator) 演習 (1)	園田由紀 (日本 MBTI 協会)
	6 月 21 日(水) 13:00-16:40	行動変容を支援するスキル コーチング演習	半谷知也 (LBJ)
	6 月 28 日(水) 13:00-16:40	自分を知る・相手を知る MBTI 演習 (2)	園田由紀 (日本 MBTI 協会)
	7 月 5 日(水) 13:00-16:40	自分を知る・相手を知る MBTI 演習 (3)	園田由紀 (日本 MBTI 協会)
	7 月 12 日(水) 13:00-16:40	メディア報道のあり方を考える メディアドクター演習	渡邊清高 (帝京大学)
	7 月 19 日(水) 13:00-16:40	ヘルスライティング（２） 市民の行動変容を促す保健医療文書を作る 注意：ノート PC 持参のこと	奥原剛
	7 月 26 日(水) 13:00-16:40	ヘルスライティング（３） 発表会・総合討論 注意：ノート PC 持参のこと	木内貴弘、高山智子、奥原剛、岡田宏子、横田理恵
教科書・参考書等	- 石川ひろの 著. 保健医療専門職のためのヘルスコミュニケーション学入門. 大修館書店. 2020 - 奥原剛 著. 実践 行動変容のためのヘルスコミュニケーション. 大修館書店. 2021 - ロジャー・R.ペアマン, サラ・C.アルブリット 著. 園田由紀 訳. MBTI へのいざないーユングの「タイプ論」の日常への応用. JPP. 2012. - ヘンリー・キムジーハウス他著. コーチング・バイブル: 人の潜在力を引き出す協働的コミュニケーション(第4版). 東洋経済新報社. 2020		
成績評価の方法	出席 (60%)、演習内でのプレゼンテーション・作成した資料・レポート (40%) によって評価する。演習への参加が前提となるため、やむを得ず欠席する場合には、事前に事情を届け出ること。特に MBTI 演習は3回とも出席できることを前提とする。		
他の授業との関連	「医療コミュニケーション学」講義の受講は前提としないが、受講していることが望ましい。MBTI 演習については履修登録なしの聴講を認めない。		